

令和元年室蘭市社会教育委員の会第6回定例会会議録（要旨）	
日 時	令和元年12月19日（木） 10時00分～10時45分
場 所	2階大会議室
出席委員	余語委員長、阿知良副委員長、井形委員、川村委員、佐々木委員、 笹原委員、橋本委員
欠席委員	上村委員、越谷委員、三村委員
事務局	國枝教育長、佐々木課長、高橋主幹、大澤主幹、木村主幹 伏見館長、谷中主査

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和元年第4回室蘭市議会定例会について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） 室蘭では教職員との関係をめぐる問題で不登校となったケースは無いと報告が出ており、とても安心できる内容だった。まだ把握していない事例があるかも知れないと常に気を配ってほしい。

（B委員） 教員の働き方改革について、繁忙期は長時間勤務、そうで無いたきは短時間勤務になると、時間などのやりくりが難しくなると感じる。学校の現場に近いのが市町村の教育委員会なので変形労働時間について十分配慮願いたい。

（事務局） 都道府県では令和3年に条例を定める。介護や子育てなどに対してはこれからも考慮していきたい。働き方改革で時間等のでこぼこが出てくるので、年間を通じて注視し、負担にならない取り組みを考えていきたい。

【日程2】

報告第2号 室蘭市文化財審議会委員の委嘱について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答） なし

【日程3】

報告第3号 令和2年1月・2月の行事予定について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（B委員） 行事に関連して科学館では市外の子どもが有料になり、保護者も値上げになったが、値上げによる来館者の推移はどうか。また、どのように評価しているのか。収入は上がったが入館者が減ったのでは社会教育施設としてどうか伺いたい。

- (事務局) 平成30年度については、料金改定やきらんの開館などにより、入館者は3万6千人から3万人に減少した。令和元年度の途中経過としては落ち込み幅は少なくなったと感じている。市外の子どもたちなどについては負担が増えたが、施設の目的を見失わず運営していきたい。また、令和2年は現科学館の閉館の年になるので、利用された多世代の方々に向けたイベントも行いたい。
- (B委員) 科学館での実験教室を行う工大学生も喜んでおり、実験教室などには小中学生をはじめ高校生も通っている。歴史ある科学館を利用した三世代が楽しめる館は全国的にもめずらしく、その伝統を新しい館にも引き継いでほしい。
- (事務局) 科学は子どもたちに良い影響を与える題材だと考えている。これから開館する館は図書館と連携しながら広域的な観点からも進めていきたい。
- (A委員) きらん祭りについて親子連れが多く感心した。当日は駐車場に入りきれない人が施設に来てくれるたのはうれしい。これからも親子連れの受け入れや駐車場の確保などをお願いしたい。
- (事務局) 駐車場に関してはモルエと連携しており、出演者にはモルエからバスも出していた。初めてのイベントだったのでなれない方々も多かったと聞いており、次回からはさらに周知を図りたい。来場者に関しては滞在時間を長くしてもらうために、市内の福祉施設から軽食を出して好評を得た。次年度以降も続けていきたいと考えている。

【日程4】

- その他 (1) 令和2年社会教育委員の会日程予定
(2) 令和2年北海道社会教育委員連絡協議会について
- (事務局) 事務局より説明した。
(質疑応答) なし

次回開催日 令和2年2月20日(木)